

高齢者の自殺をなくしましょう

～自殺予防街頭啓発に参加しました～

昨年の全国の自殺者数が、27,195人と4年連続で減少となる中、本県の自殺者数は181人と2年連続で増加するという結果となりました。特に65歳以上の高齢者は74人と前年の1.4倍に増加、自殺者数の約4割を占める結果となり、こうしたことから、県では高齢者の自殺予防対策を重点的に実施することになりました。



自殺総合対策大綱において、例年、自殺者が多い傾向にあるとされている3月を「自殺対策強化月間」と定めていますが、期間中である3月7日、県民の方に身近な人の悩みに気づいてもらい、一人でも自殺者を減らそうと、徳島駅前において街頭啓発が行われることになり、関係機関・団体等から約40名が参加、老人クラブからも早朝にもかかわらず地元徳島市老連から、細井市老連会長をはじめとする6名にご参加いただきました。

「ストップ自殺」と書かれたタスキをかけた参加者は、徳島駅前の各持ち場に分かれて、通行人らに相談窓口などが記載された啓発パンフレットと蛍光ペンなどが入った袋を手渡し、自殺防止を呼びかけました。県老人クラブ連合会からは、本年度自殺予防の啓発を行う目的で実施し、先日優秀作品が決定した「高齢者いきいき川柳」の最優秀作品を掲載したポケットティッシュを提供しました。

